

外来患者さんの診察時間で

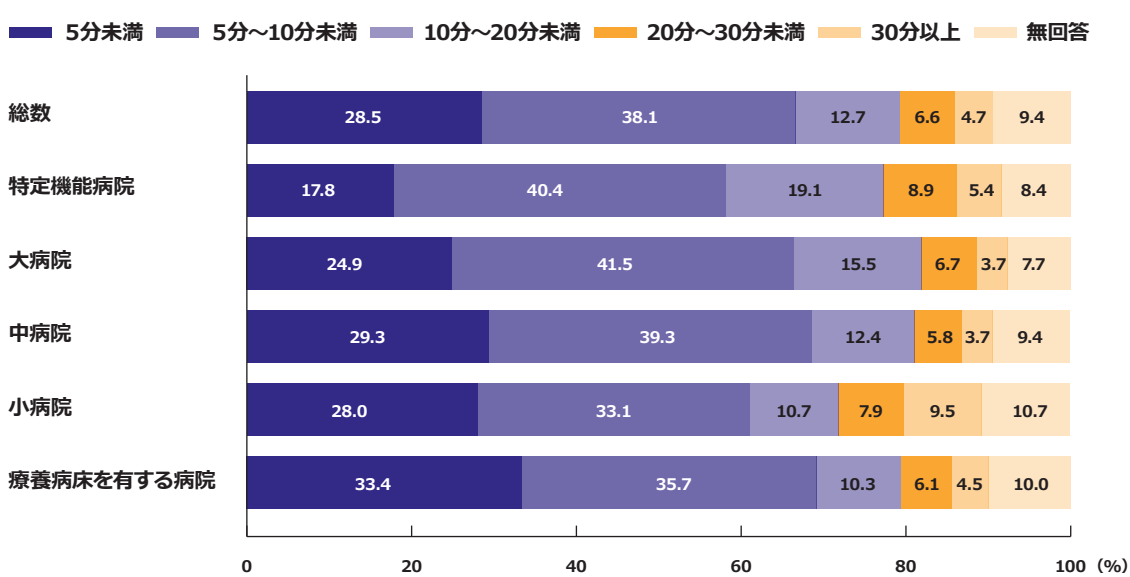
もっとも多いのは5分～10分未満

ポイント

厚労省が3年ごとに実施する、全国の患者さんを対象とした受療行動調査の結果です。病院の規模に関わらず、診察時間は5分～10分未満が約4割で最も多く、次いで5分未満が約3割という結果でした。同調査において、この他にも外来患者の病院に対する満足度を調査したところ、医師による診療・治療内容、医師との対話、医師以外の病院スタッフの対応といった項目で半数以上の患者さんが満足していました。

全国の外来・入院患者の受療行動統計

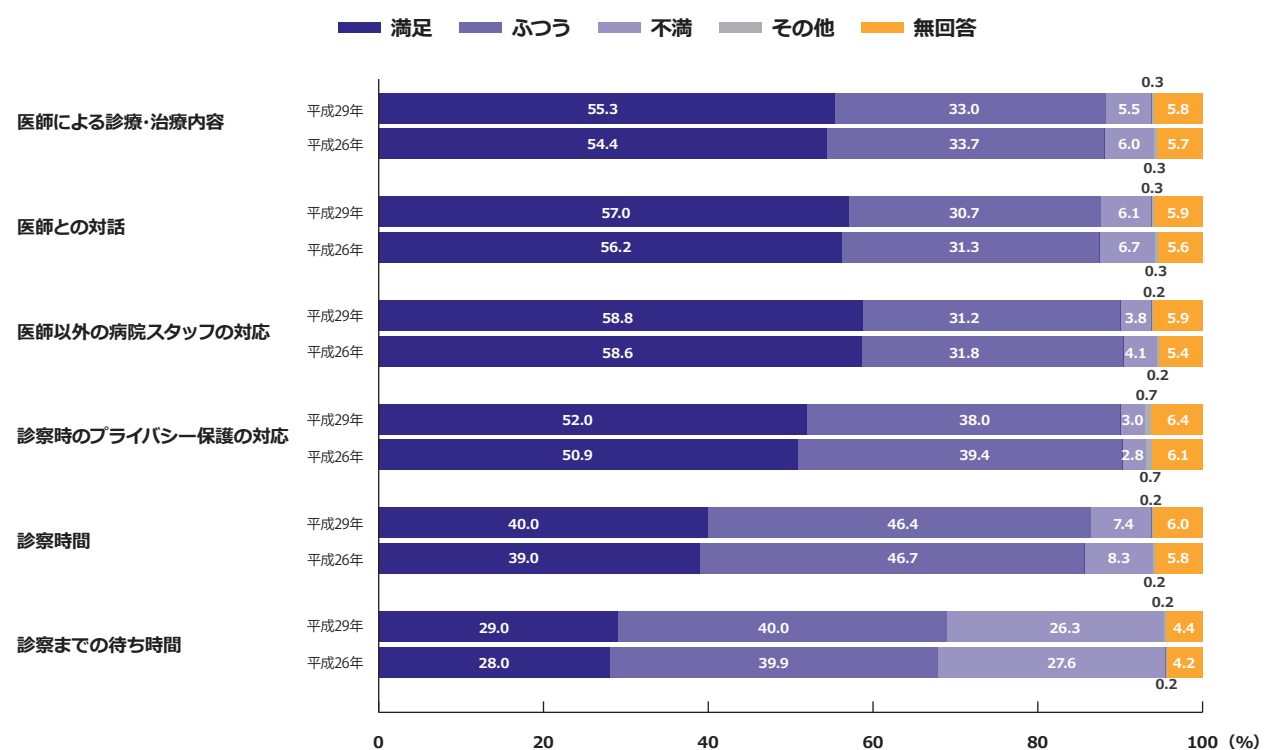
図1 病院の種類別にみた外来患者の診察時間



注:「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

特定機能病院:特定機能病院として承認 大病院:500床以上の一般病院 中病院:100～499床の一般病院
小病院:20～99床の一般病院 療養病床を有する病院:主に長期療養を要する患者のための病院

図2 外来患者の病院に対する満足度(項目別)



注:1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)「診察までの待ち時間」及び「診察時間」は「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

目的 全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等、患者の医療に対する認識や行動を明らかにする。

対象 全国の一般病院を利用する外来および入院患者186,709例。

方法 医療施設において患者に調査票を配布し、回収したうち有効であった145,700の回答を集計した。

主な結果 【診察までの待ち時間(外来患者)】

15分未満が26.1%と最も多く、次いで15分～30分未満が23.1%、30分～1時間未満が20.4%であり、1時間未満の待ち時間の割合が約7割となっている。

【診察時間(外来患者)】

病院の種類別にみた外来患者の診察時間を図1に示す。5分～10分未満が38.1%と最も多く、次いで5分未満が28.5%、10分～20分未満が12.7%となっている。

病院の種類別にみると、診察時間5分未満は療養病床を有する病院で33.4%と最も高く、特定機能病院で17.8%と最も低くなっている。

【病院に対する満足度(外来患者)】

外来患者の病院に対する満足度を図2に示す。「満足」と答えた者の割合が高い項目の上位は、医師による診療・治療内容(55.3%)、医師との対話(57.0%)、医師以外の病院スタッフの対応(58.8%)であった。

一方、「不満」と答えた者の割合は、診察までの待ち時間(26.3%)が最も高くなっていた。

なお前回調査時(平成26年)と比べると、全ての項目で「満足」の割合が上昇していた。

厚生労働省:平成29年受療行動調査(概数)

Make it Simple.

トラゼンタ®の最新情報はこちらをクリック